

『当たり前』のことが一番大切
仕事に出かけて、『無事に帰ってくる』…、そして、『ただいま』と家のドアを開ける

「構内」事故の防止 (バック事故多発…後方の安全確認)

狭い道でのすれ違い時は、車両停止の徹底 (無理して先に進まない)

雪山で見えにくい時は…身を乗り出して確認！ 雪山の陰からの飛び出し注意！

冬道での追い越し・車線変更は、事故に直結！ 危険な追い越し 生命の危険！

交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意

見落とすな！ 『一時停止の標識』
確実な『一時停止』と左右の安全確認

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

交差点は、気配り・目配り、危険予知

- 右左折時は、交差点中央で一旦停止、最徐行で進行
- 左折時は、ハンドルを切る手前で、安全確認の徹底
- イエローストップ運動の徹底 (黄色信号は、「止まれ」)
- 助手席の安全窓の視界確保と車内清掃の徹底

- 駐停車車両の陰から…出てくるかも知れませんが、注意しましょう
- 右折する時は、歩行者をしっかりと確認しましょう
- 『左折巻き込み事故』に注意しましょう

横断歩道では、歩行者優先は守られているのか 横断歩道で5歳死亡事故

2018年3月8日10時10分

横断歩道では歩行者が優先。道路交通法38条の規定にもかかわらず、車が止まらない。兵庫県で1月、横断中の男児(5)が車にはねられ死亡した事故をきっかけに、県警が緊急の取り締まりを実施すると、摘発件数は16日間で1668件にのぼった。1月13日午後5時20分ごろ、横断歩道を渡っていた男児が乗用車にはねられ、亡くなった。警察によると、近くの自宅からアイスクリームを買いに行く途中だった。事故の直前、左右を見て県道を渡ろうとする様子が見えなかったという。信号機はないが、道路はまっすぐで見通しはよい。発生時刻はちょうど日没のころ。横断歩道の白線は薄れて見えにくい。

「脇見をしていた」 警察護送車両が追突

2018.3.8 18:02

8日、男性巡查部長(32)の運転する護送車両が、国道で前方にいたワンボックスカーに追突したと発表した。巡查部長は「脇見をしていた」と話しているという。追突されたワンボックスカーを運転していた男性会社員(38)は、腰の痛みを訴え病院で受診。現場は見通しの良い片側2車線の直線道路。

交差点 右折の緊急出動の消防車と直進のトラックが衝突 トラックの男性が、太ももの骨を折る重傷

◇ラジオのボリュームが大きいと、サイレンが聞こえないかも…注意しましょう◇

2018/3/10(土) 11:58

10日午前9時半過ぎ、大阪府の交差点で右折しようとした消防車と、直進してきたトラックが衝突しました。警察によりますとこの事故でトラックを運転していた男性(39)が左太ももの骨を折る重傷、消防隊員3人(20代、50代)も顔面打撲などの軽傷です。事故にあった消防車は、救急事案の通報を受けて出動中。

信号の無い交差点で路線バスと車、出会い頭に衝突、男女7人けが

◇交差点、相手は止まらないかもしれない、『最徐行』◇

2018/3/10(土) 7:55

9日午後3時ごろ、新潟県の信号の無い交差点で、町営の路線バスが乗用車と出会い頭に衝突し、乗客6人全員と乗用車を運転していた20代の女性介護士が頭や手足に打撲などの軽傷を負った。バスの40代の男性運転手にけがはなかった。この事故で、2台とも県道脇の水田に転落。現場には信号機や一時停止の標識はなかった

前方で事故車が停車 大型トラックが追突、事故車の男性死亡

◇前方で…何が起こるかわかりません 車間距離を十分にとりましょう◇

2018/3/10(土) 6:30

10日午前2時ごろ、岐阜県の中央自動車道で、トラックと事故を起こした乗用車が追い越し車線上に停まっていたところに、別の大型トラックが追突しました。この事故で、乗用車に乗っていた男性が死亡しました。